

学校生活が戻りつつある今 . . .

西部教育事務所 管理主監 岩崎 聡

毎年、一年の世相を表す漢字が発表されますが、令和4年度を振り返るとどのような言葉が思い浮かぶでしょうか。私は、様々な場で挨拶の決まり文句のようにになっていた「3年ぶり」という言葉が印象深く残っています。新型コロナウイルス感染症への対応が少しずつ分かるようになり、行事などを中止するのではなく、対応策を講じて縮小してでも実施し、これまでの生活に戻そうという気運が高まってきた表れだと思います。この3年間で、学校生活は大きく変化しましたが、それが戻りつつある今、学校はどこに気を付けていけばよいのでしょうか。

学校で大きく変化したのは、やはり1人1台端末の導入によるICTの活用でしょう。学校訪問等で授業を参観すると、先生がタブレットを使って分かりやすいように資料を提示したり、子供に意見を発表させたりしていました。各学校で熱心に取り組んでいることに、感謝しています。これまで簡単に見せることができなかった動画の鑑賞や、ノートを持ち歩かなければできなかった学級全体での意見の共有が、容易にできるようになったということを実感しました。ただ、そのような中、不安に感じることもありました。先生方の板書や子供たちがノートに書くことが減った、子供たちがタブレットなどの画面を見ていることが多く、声に出して発表することが減った、ということです。このことは、授業をしている先生方

も悩んでいることかもしれません。校内研修等でそのようなことを議論している学校も多いのではないのでしょうか。

教育の現場では、ICTの活用や言語活動の充実のように、指導手法がクローズアップされるとどうしても内容に関する部分が疎かになってしまう傾向があります。指導案に記述する留意点に、手法に関する記述が増え、知識・技能や考え方に関する記述が少なくなってしまいます。しかし、大切なことはタブレットを使うことではなく、そこでの活動が子供たちの課題解決につながっているのか、多くの人の考えに触れて理解を深めたり、広げたりすることにつながっているのか、ということです。

学習指導要領の改訂に新型コロナウイルス感染症の対策、ICTの導入など、慌ただしく歩み続けた3年間だったと思います。今年度の残りもわずかとなってきましたが、少しずつ学校生活が戻りつつある今、指定校などの取組も参考にして、この3年間の実践をぜひ全職員で整理し、見直してみてください。

そして、新年度の4月のスタートから、子供たちがより学びを実感できる授業を展開できるよう準備をお願いします。



令和4年度 西部管内における学力向上に関する事業

事業名	学校名	研究主題
ICT活用促進プロジェクト事業	下仁田町立 下仁田小学校	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習方法・指導方法の充実 ～学習過程に応じたICTの効果的活用を通して～
	下仁田町立 下仁田中学校	学びを深める生徒の育成 ～学習者主体の授業づくりを通して～
ICT活用促進プロジェクト事業 ・ 学力向上実践事業	高崎市立 中央小学校	主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり ～中央小学習過程スタンダードにおけるICTの活用の工夫を通して～
	藤岡市立西中学校区 (公開授業：西中学校)	主体的に学び、自分の考えを表現する力の育成 ～学習効果を高めるための1人1台端末の活用を通して～
	富岡市立 東中学校	思考力、判断力、表現力を身に付けた生徒の育成 ～1人1台端末の効果的な活用を通して～
	安中市立 秋間小学校	自ら学び、考え、表現できる児童の育成 ～「学びをつなぐ授業づくり」を中心に～

今年度は以下の小中学校及び中学校区に、教育課程に係る実践研究及び「はばたく群馬の指導プランⅡ」に基づく授業改善、並びに ICT の効果的な活用に係る研究に取り組んでいただきました。各学校の特色ある取組の概要を紹介します。



ICT 活用促進プロジェクト(モデル校事業) 拠点校の取組

学校名	主な取組	学習の様子
下仁田町立下仁田小学校	<p>○ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が個々に考えをもち、その考えをペアで共有したり、1人1台端末を使って全体で共有したりした後、<u>教師の発問により個々の考えを更に深めていく授業実践</u> ・ICTの活用スキルと合わせて、<u>デジタル・シティズンシップの指導</u>を学年に応じて段階的に道徳や学活、総合的な学習の時間に設定 	
下仁田町立下仁田中学校	<p>○「課題設定」「教師のフット」「振り返り」の視点から学びを深める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科ごとに、「<u>学びの深まった姿</u>」(目指す生徒像)や<u>学校と家庭の学びをつないだ授業実践</u>について教職員で共有し、<u>学びを深めるための指導や家庭学習を3つの視点から改善</u> ・教師のICT活用力向上を目指し、<u>ICTファシリテーターを中心としたOJT</u>を計画的に実施 	

ICT 活用促進プロジェクト(モデル校事業)実践推進校・学力向上推進事業の取組

学校名	主な取組	学習の様子
高崎市立中央小学校	<p>○中央小学習過程スタンダードにおけるICTの効果的活用の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体的な学びを目指した「課題設定」、自力解決から協働的な学びによる「課題解決」、児童の学びの実感へつなげる「まとめと振り返り」を設定した学習過程スタンダードを教職員で共有 ・それぞれの学習過程(つかむ・追究する・まとめる)場面において、「<u>何ができるようになるのか</u>」「<u>どんな力がつくのか</u>」を明確にし、目的を達成するためのツールとしてICTを活用 	
藤岡市立西中学校区 藤岡市立西中学校	<p>○家庭と学校の学びをつなげたICTの効果的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習において調べ学習や基本的事項の確認、課題に対する考えの明確化など、次の授業のめあてに即した準備を行う個別最適な学びから授業の協働的な学びへつなぐ予習型の授業実践 	
藤岡市立美土里小学校 藤岡市立平井小学校 藤岡市立日野小学校	<p>○STEAM教育の視点を取り入れた思いをかたちにする総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な学習から探究意欲を高めるとともに、ICTを活用して空間的な制約にとらわれず外部とのつながりを大切にした学習活動の導入 	
富岡市立東中学校	<p>○教師の指導力の向上を図る計画的、組織的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修における一人1授業を実践(校内だけではなく市内にも公開)し、授業検討会で共有されたICTの効果的活用等について、<u>校内研修だより</u>を発行し、全教職員で共有 ・授業等で行われたICTの効果的な活用法を<u>ICT活用授業実践報告</u>(使用したアプリ、単元名、活用の効果など)にまとめ、蓄積、共有 	
安中市立秋間小学校	<p>○個別最適な学びに重点をおいたICTの効果的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が、学びの連続性を実感できるようにしたり、教師の指導改善につなげたりする<u>学びの記録の蓄積</u> ・次の授業の学習課題を家庭学習で取り組ませ、授業における協働的な学びの場面で児童が思考を深められるようにする予習型の授業実践 ・自己の学力の分析から、主体的に学ぶ態度を育てる<u>単元テストの振り返り</u>の実施 	

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実から主体的・対話的で深い学びの実現へ

どの学校もICTを活用しながら、児童生徒が主体的に学びに取り組むことができるような個別最適な学びと、考えを共有し比較、分析、整理等を行う協働的な学びの一体的な充実を図っていました。授業づくりにおいては今後も、更にICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実により主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることが重要となります。指定校において行われた授業については、西部教育事務所のHPに記録を掲載していますので、今後の授業づくりの参考にしてください。

